

## 平成 25 年度の九州地方環境事務所の事業内容

平成 25 年 11 月 27 日  
九州地方環境事務所野生生物課

平成 25 年度は、ツル類の越冬地分散の促進を目的として、下記の実施する予定。

### 1 出水におけるツル類の羽数調査

出水で羽数調査を 6 回行う。

国際的なツルの越冬地分散状況及びツル類の正確な羽数を把握するため、主な越冬地である韓国での調査と同時に実施する。

### 2 給餌に依存しない個体の行動調査

分散化の基礎情報の一つとして、出水において給餌に依存していない個体の行動を調査し、分布環境、自然の餌等の情報を収集する。計 6 回程度調査を実施。

### 3 捕獲手法の実施・検討

ツル類の個体情報を得るため、また、ツル類の安全で簡易な捕獲手法を確立するため、フレーム型ワナを作成し、捕獲を試みる。捕獲できた場合は、個体の基礎情報の収集（体重、体長等）、標識の装着、血液・スワブ（口腔内及び総排泄腔）等の採取を行う。

フレームワナの利点、欠点、他の手法と比較した特徴等をまとめる。

### 4 国際ツルシンポジウムへの研究者の派遣

平成 26 年 1 月に、出水市役所が出水市において開催する国際ツルシンポジウムに研究者を派遣する。国内から 3 名（調整中）、海外から 2 名（中国北京林業大学の郭教授、国際ツル保護基金）を派遣予定。